

平成30年度 普通会計決算見込みのポイント

大分県

1 歳入・歳出及び収支の状況

- ・九州北部豪雨災害等からの復旧・復興に引き続き取り組むとともに、大分県版地方創生の実現に向けた「安心・活力・発展プラン2015」の取組前進、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催、武道スポーツセンター等の建設などにより、歳入歳出規模はともに増加
- ・県税の7年連続の増収や不断の行革の取組により、実質収支は黒字を確保

◆歳入 592,252百万円（1.5%）

・豪雨災害等からの復旧・復興事業の進捗に伴い国庫支出金が増加。武道スポーツセンターの建設や芸術文化短期大学の改修に伴う大分県立文化・スポーツ施設等整備基金の活用。また、地方消費税の増収などにより県税が7年連続で増加。

◆歳出 573,938百万円（2.2%）

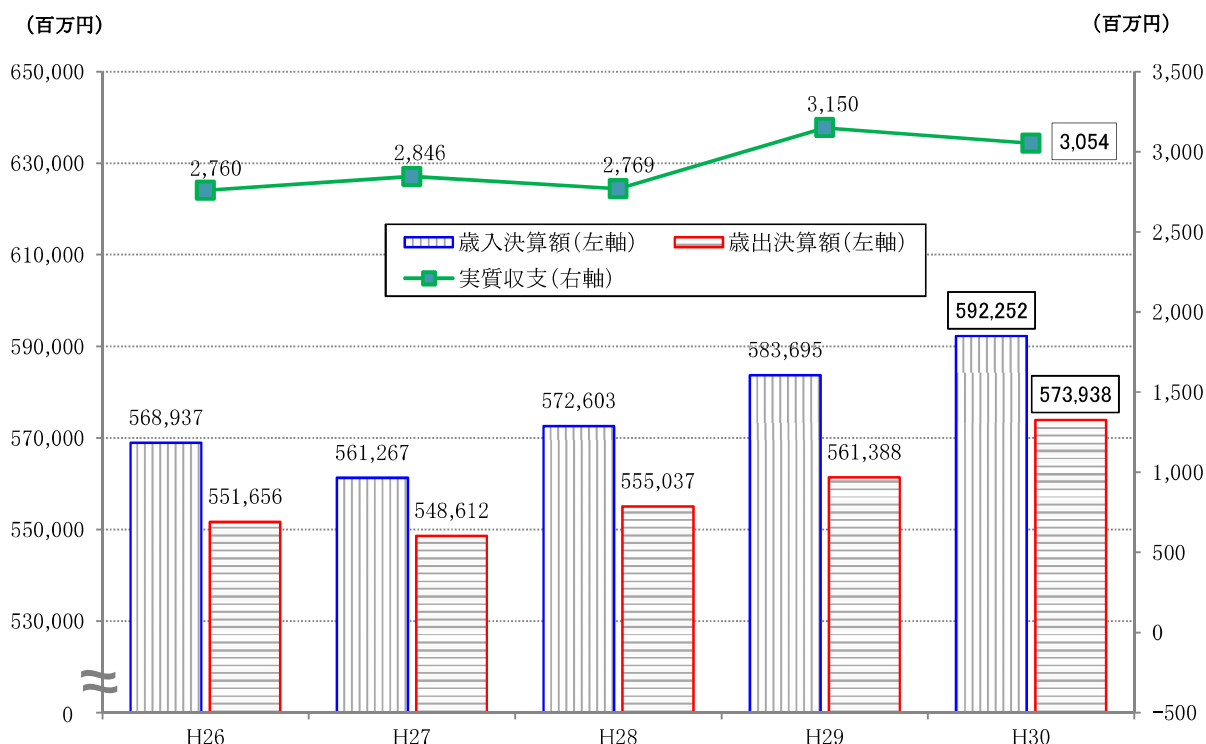
・豪雨災害等からの復旧・復興の推進、武道スポーツセンターの建設などにより、投資的経費が3年連続で増加。また、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催事業費などが増加。

(参考)

(百万円)

○ H29豪雨災害等関連事業	H29	10,345	→	H30	18,515	(+8,170)
○ 武道スポーツセンター建設事業	H29	1,610	→	H30	3,899	(+2,289)
○ 芸術文化短期大学改修事業	H29	1,417	→	H30	2,317	(+900)
○ 国民文化祭等開催事業	H29	175	→	H30	806	(+631)

◆実質収支 H29 3,150百万円（黒字） → H30 3,054百万円（黒字）



2 財政の健全性

- ・財政健全化4指標はいずれも早期健全化基準以下
- ・財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、公債費等の経常経費が減少した一方、地方交付税等の経常収入の減により上昇
- ・公債費の標準財政規模に占める割合を示す実質公債費比率は、元利償還金の減により改善

◆ 経常収支比率 H29 93.9% → H30 94.8%

《財政健全化4指標》

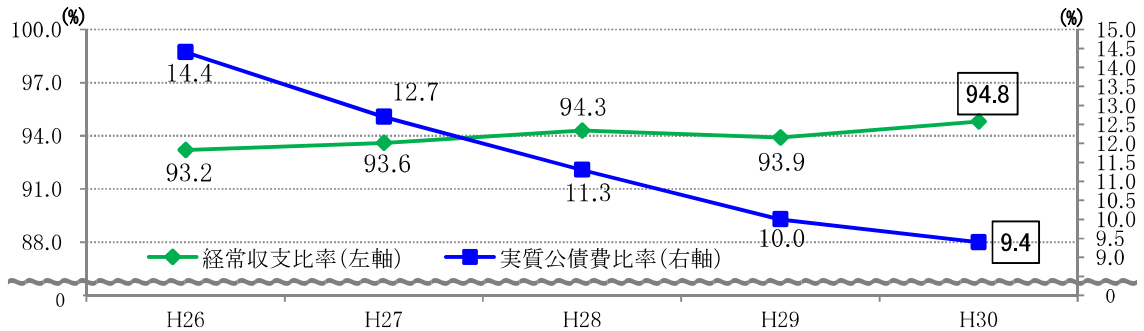
早期健全化基準

◆ 実質公債費比率 H29 10.0% → H30 9.4% 【25.0%】

◆ 将来負担比率 H29 162.0% → H30 167.4% 【400.0%】

◆ 実質赤字比率 H29 なし(参考▲1.00%) → H30 なし(参考▲0.94%) 【3.75%】

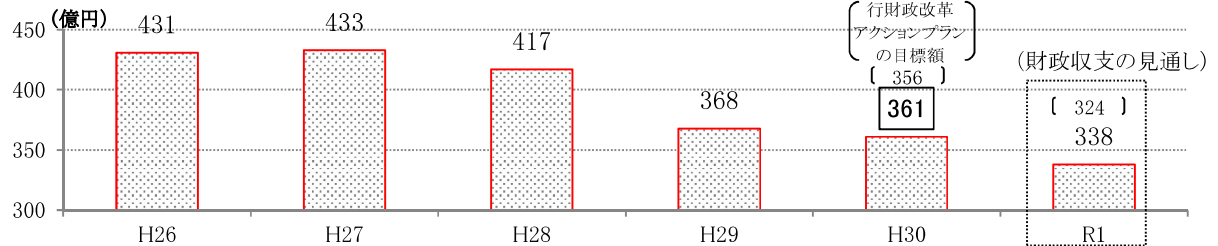
◆ 連結実質赤字比率 H29 なし(参考▲5.83%) → H30 なし(参考▲6.33%) 【8.75%】



3 財政基盤の強化

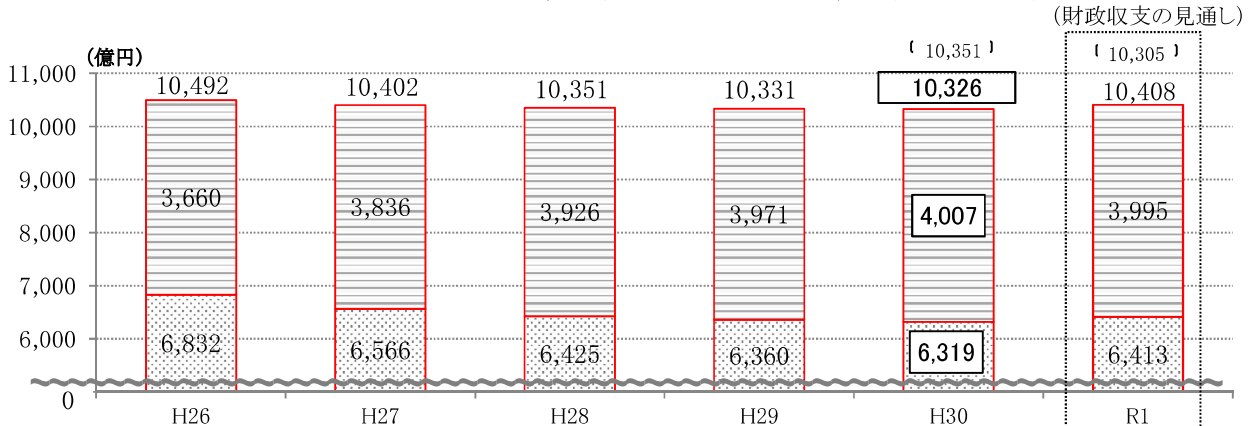
- ・財政調整用基金残高は、行財政改革アクションプランの目標額を確保
- ・県債残高は、発行抑制などにより5年連続で減少し、臨時財政対策債を除く残高も17年連続で減少

◆ 財政調整用基金残高 H29 368億円 → H30 361億円 (△7億円)



◆ 県債残高(一般会計) H29 10,331億円 → H30 10,326億円 (△5億円)

(臨時財政対策債除く県債残高 H29 6,360億円 → H30 6,319億円)



■ 臨時財政対策債 ■ 臨時財政対策債除き

○問い合わせ先
財政課 松垣(内2358)